

# 認知症バリアフリー交流会

## 共生社会の実現に向けた取組発表①

### 生活協同組合の取り組み



2025年11月21日  
一般社団法人 全国コープ福祉事業連帯機構  
専務理事 本木時久

# 生活協同組合の概要

## 生協とは

「消費生活協同組合法（生協法）に基づいて設立される組合のひとつで、利用者組合員自身が出資し、利用や運営に参画しています。」

## 事業種類は

宅配や店舗での商品供給、共済、医療・福祉事業などを行っています。

## 組合員組織として

組合員同士の助け合い活動や、ぐるり各地域で幅広い活動に取り組んでいます。



# 生協法と定款

## Ⅰ 生協法第1条

- この法律は、国民の自発的な生活協同組織の発達を図り、もって国民の生活の安定と生活文化の向上を期することを目的とする。

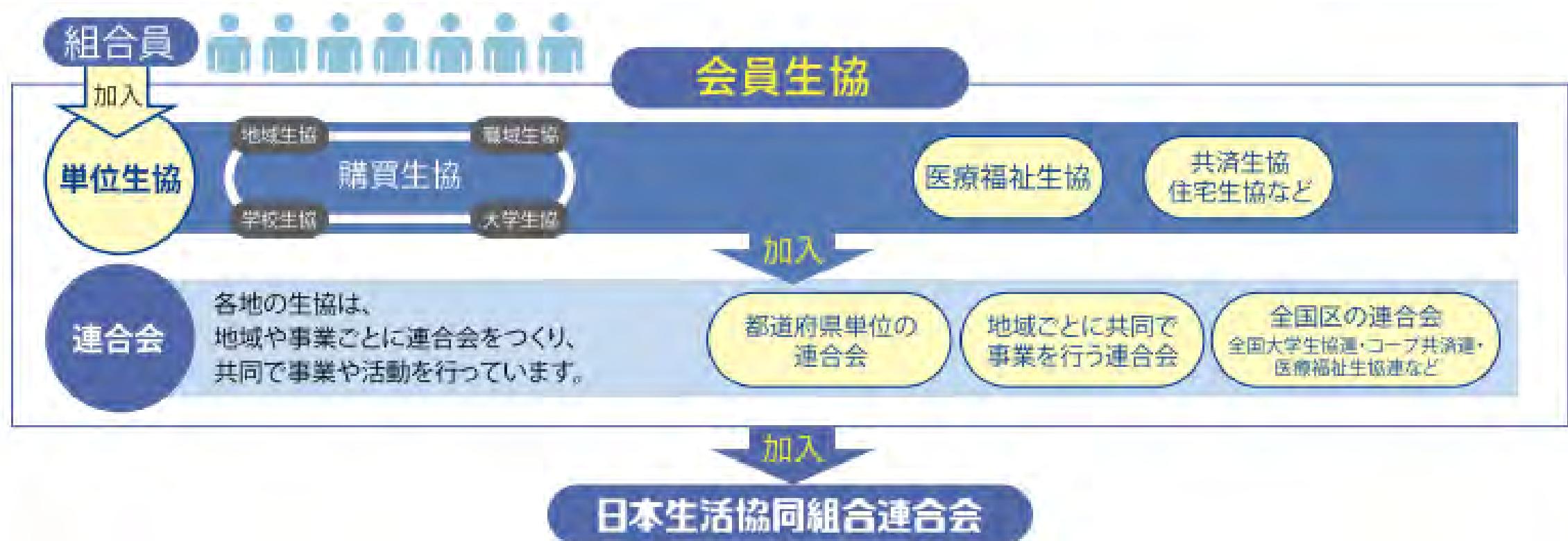
## Ⅱ 日本生活協同組合連合会定款第1条

- この生活協同組合連合会（以下「会」という。）は、購買・共済・医療・福祉・住宅等の事業を行なう生活協同組合及び生活協同組合連合会（以下「組合」という。）の全国的連帯を促進し、民主的運営により、事業の発展を図り、消費者・市民の自立と協同、生活文化の向上、世界平和に寄与することを目的とする。

# 協同組合原則：行動の指針

- 第1原則　自発的で開かれた組合員制
- 第2原則　組合員による民主的管理
- 第3原則　組合員の経済的参加
- 第4原則　自治と自立
- 第5原則　教育、訓練および広報
- 第6原則　協同組合間協同
- 第7原則　コミュニティへの関与

# 多くの生協が連合会に加入



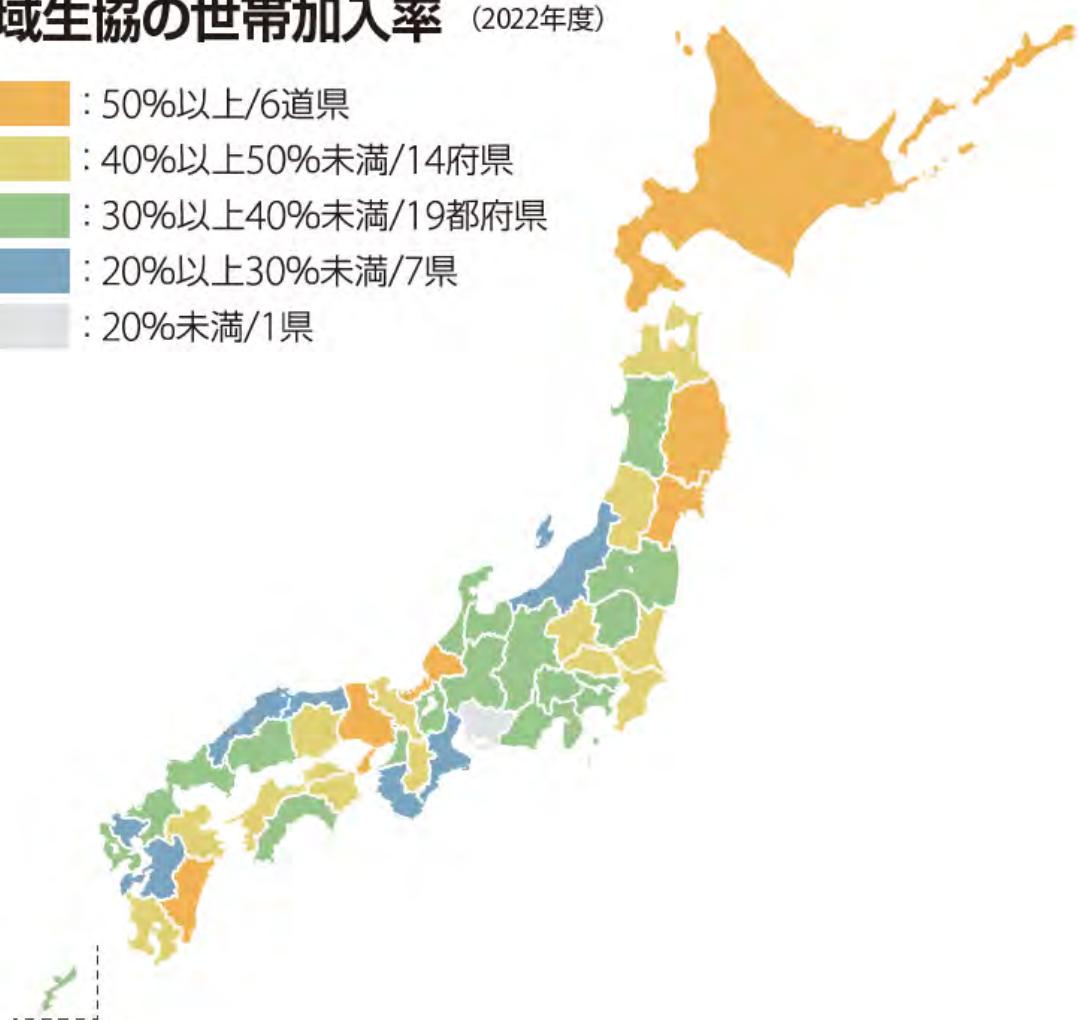
組合員数：3,063万人（前年比100.7%）

総事業高：3兆7,379億円（前年比100.8%）

# 生協への加入率

地域生協の世帯加入率 (2022年度)

- : 50%以上/6道県
- : 40%以上50%未満/14府県
- : 30%以上40%未満/19都府県
- : 20%以上30%未満/7県
- : 20%未満/1県



全国世帯の約4割が生協に加入

2022年度 世帯加入率	県名
50%超	宮城県、北海道、 兵庫県、福井県、 岩手県、宮崎県

## 【参考】全国コープ福祉事業連帯機構の概要

1. 法人名：一般社団法人全国コープ福祉事業連帯機構（略称：コープ福祉機構）
  2. 住所：東京都渋谷区
  3. 代表者：代表理事 森政広・多村孝子
  4. 設立：2022年6月17日
  5. 社員数：50法人（2025年10月現在）
  6. 主な社員：生活協同組合、生活協同組合連合会、生協を母体に設立された社会福祉法人等
  7. 設立目的：生協グループの福祉事業を発展強化させることにより、誰もが安心して自分らしく暮らし続けることのできる地域づくりへ貢献する。また、社員による協同事業展開及び社員法人への経営支援機能を強化する
- ※ 生協グループ全体で福祉介護事業を行っているのは約150法人、収入は約1,300億円

# 生協グループで宣言中の法人（宣言順・2025年11月4日時点）

1. 日本生活協同組合連合会
2. （一社）全国コープ福祉事業連帯機構
3. 福井県民生活協同組合
4. 生活協同組合コープあいち
5. 生活協同組合パルシステム埼玉
6. 日本医療福祉生活協同組合連合会
7. （社福）協同福祉会
8. みやぎ生活協同組合

# 日本の生協の2030ビジョン



1. 生涯にわたる心豊かなくらし

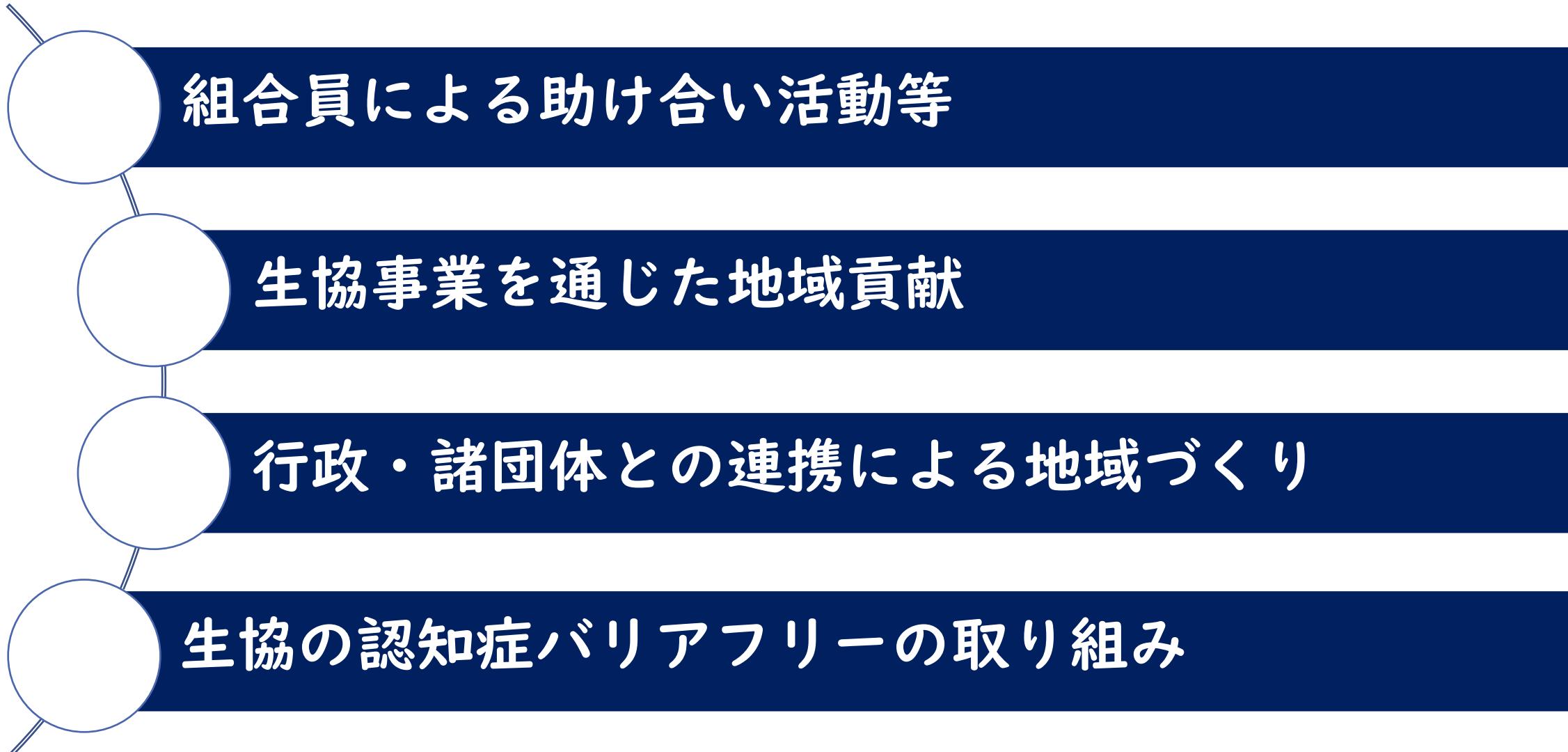
2. 安心してくらし続けられる地  
域社会

3. 誰一人取り残さない、持続可  
能な世界・日本

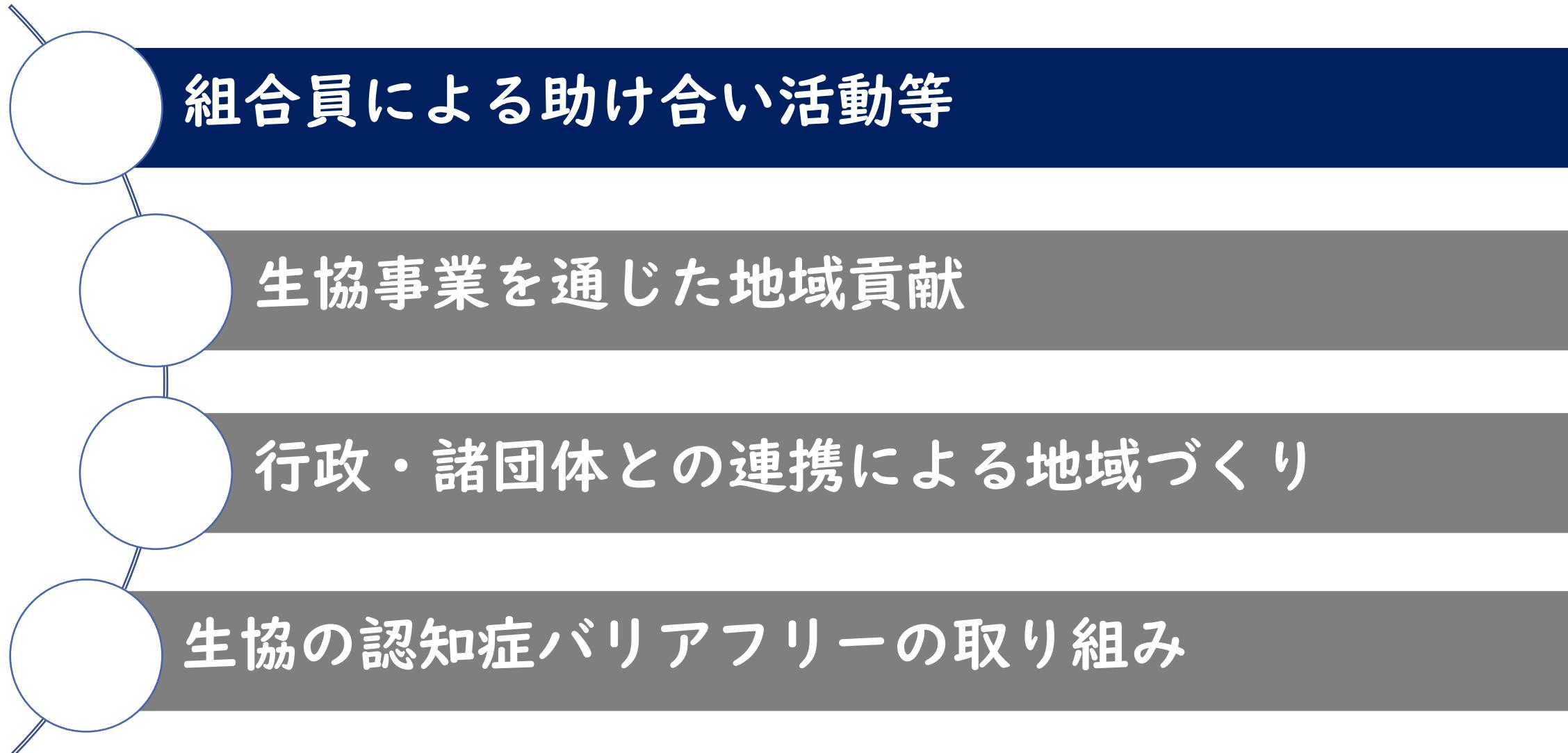
4. 組合員と生協で働く、誰もが  
生き生きと輝く社会

5. より多くの人がつながる生協

# 生活協同組合を通じた互助の取り組み



# 生活協同組合を通じた互助の取り組み



# 組合員による助け合い活動

## 健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます

私たちは、食生活、運動、社会参加の視点から健康づくりを進めます。安全・安心はもとより、より健康な食生活に向けた商品事業と組合員活動を推進します。生活習慣病や介護予防など「予防」を重視し、福祉事業や助け合い活動を広げ、自治体や諸団体と連携し、地域包括ケアシステムのネットワークに参画します。

関連するSDGsの  
主たる目標



### 目標3 (保健)

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

《関連するSDGsの目標》



### ● 【助け合い活動】 全国の生協

- ・くらしの困りごとを組合員同士で助け合う有償ボランティア活動である助け合い活動は、年間のべ46万9,059時間、活動者のべ15,804人が取り組んだ(2022年度末)。

### ● 【ふれあいサロン活動】 全国の生協

- ・気軽に立ち寄ることができる場の提供などを行うサロン活動は、年間のべ2,000回開催、参加人数のべ19,307人が取り組んだ(2022年度末)。

### ● 【認知症サポーター】 全国の生協

- ・2024年度の認知症サポーター養成講座は119回開催され、新たなサポーター数は1,031人となった。認知症サポーター数の合計は、53生協50,869人へと増加(2025年3月末時点)。

# 組合員による助け合い活動の取り組み経過

- ・ くらしの助け合い活動は、ボランティア活動（無償）や制度的な対応とは異なる「謝礼金」を介在させた会員制度による有償性を持ったボランティア活動として位置付けられます。
- ・ このことにより、利用会員と活動会員の対等・平等性を明確にし、また、組織的な対応で、利用者への継続的・効果的な援助も可能となる活動です

- 班や地域の活動を基礎とした、日常的な助け合い活動の広がり
- ボランティア活動や多彩な助け合い活動の広がり ⇒ 1983年最初の「くらしの助け合いの会」が現・コープこうべでスタート
- 1986年厚労省「生協のあり方に関する懇談会」報告書にて、生協の福祉活動が強調される。
- 1986年「福祉助けあい活動交流会（第1回）」が開催される。

# コープこうべ「くらしの助け合い」の仕組み

## 活動について

地域住民の助け合いによって自立したくらしを支える  
有償の家事支援活動です。特別な資格はいりません。  
会の趣旨に賛同いただける方ならどなたでも会員になれます。

### 活動時間

活動時間	平日 10:00~17:00
休み	日曜・祝日・年末年始・お盆はお休みです。

●上記お休み期間の活動はご相談ください。  
(日曜・祝日は利用料1時間200円増し。)

### 利用料など

年会費 (4月～翌年3月)	1,000円 年度後期(10月～翌年3月)は500円
------------------	----------------------------

●利用会員・活動会員ともに年会費を払い登録します。

利用料 および 活動費	家事支援 (基本は2時間)	利用会員	活動会員
屋外作業 など	850円/1時間 運営協力費200円を含む	850円/1時間	650円/1時間
交通費	1,150円/1時間 運営協力費200円を含む	1,150円/1時間 運営協力費200円を含む	950円/1時間 実費を受け取る

●利用会員の登録についての説明はコーディネーターが訪問します。  
●活動会員には地区活動本部で登録説明会を行っています。  
●活動会員は組合員であることが必要です。  
●運営協力費は会の運営のために使われます。

## 活動のしくみ

活動会員

活動

利用料

地域の利用会員と活動会員をつなぎます

利用会員

手伝ってほしい

手助けしたい

地域コーディネーター

困ったとき、まずはお電話ください

登録申込

利用申込

地区活動本部

●利用会員は、利用料を負担することで気兼ねなくサービスを受けることができます。  
可能な限り自分自身で生活を支えるという自助と自立の精神を大切にしています。  
●活動会員には月1回の「つどい」(学習と交流の場)で活動をサポートします。

### 活動内容

- 食事作り
- 掃除
- 洗濯
- 買い物
- 話し相手
- 産前産後の家庭での家事支援
- 通院などの外出の付添い
- 庭の草引き
- 庭木の枝切り など

活動時間・内容については地区活動本部にご相談ください

### 賛助会員 (組合員でなくても賛助会員になることができます)

活動を資金面から支えていただく賛助会員制度を設けています。  
賛助会費1口1,000円(年間)から、何口でも可能です。  
口座番号／00980-2-266703 加入者名／コープくらしの助け合いの会

出典：コープこう  
べホームページ

# 生協しまねから始まった、地域と連携した「おたがいさま」の取り組み

## ■ 運営の基本

- ① 会員制ではない（応援者でもあり利用者でもある）
- ② 年会費なし（運営費とする）
- ③ 自立的組織（スマールスタート：暮らしの助け合いの会では他の事業活動と同様に当該県全域展開を前提にするが、おたがいさまはローカルに足場を固めて設立する）

## ■ コーディネートの基本

- ① やりたい人が創る世界：やりたい、応援したいという自発的意思の尊重。顔の見える範囲を大事にする。
- ② いつでも、だれでも：いつでも開かれており、出入り自由。参加の資格や条件ができるだけつくらない。
- ③ 困ったら、みんなで考える：とりあえずやってみるの精神。
- ④ 当事者が自分たちで決める：当事者自身が手助けして欲しいことを決める。組織・コーディネーター側が判断しない。

# 生協しまね「おたがいさま」の仕組み



※ 一人ひとりの私(当事者性)を大切にしながらより良い運営や活動を進めます。

※ 上記の利用料・応援料は各おたがいさまによって異なります。

出典：生協しまねホームページ

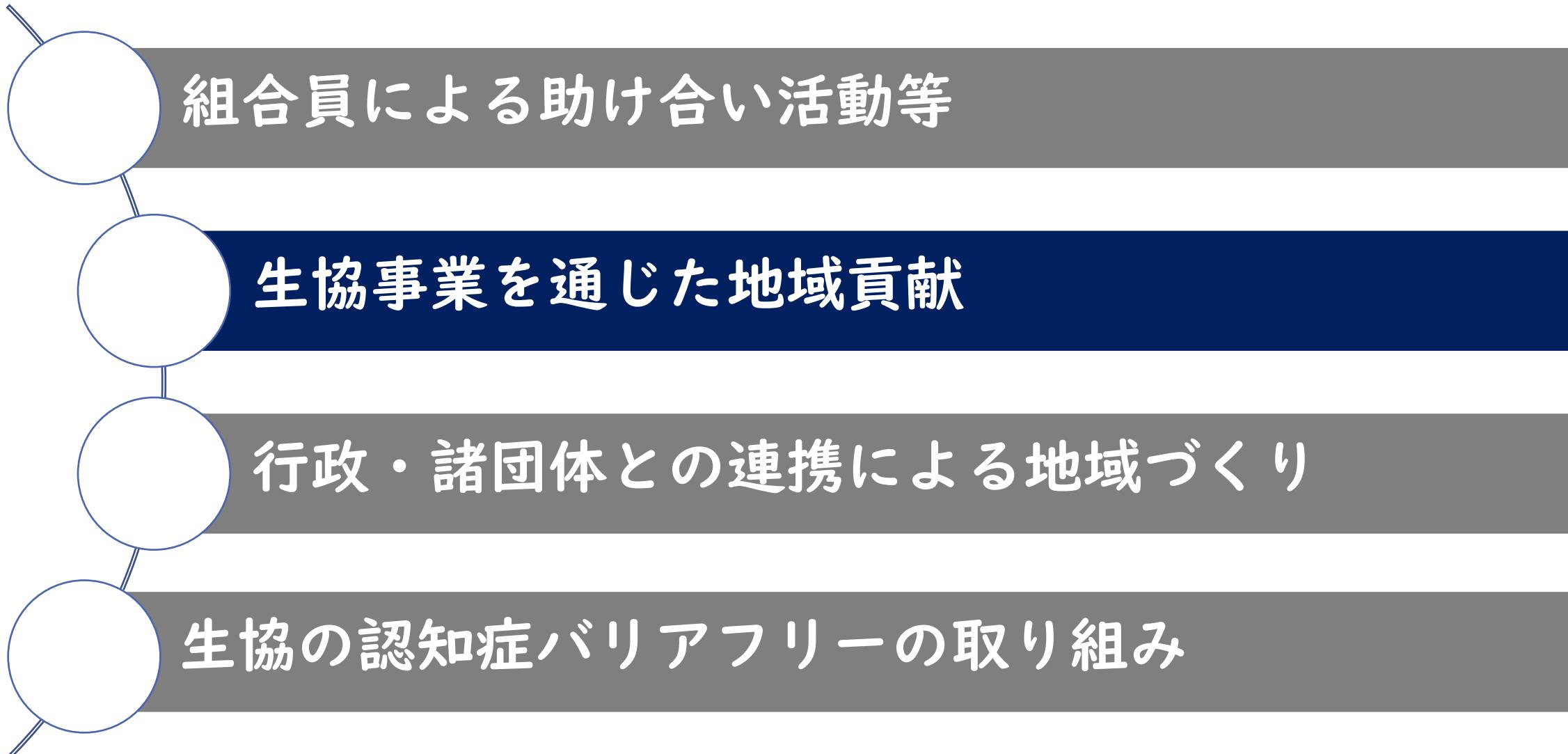
| 手助けをしてほしいことは、その人自身が決めます。

| できる時にできる範囲で応援します。

| コーディネーターは、両者の想いを共感的に受け止めつなぎます。

| 関わる一人ひとりが「私ならどうするか、どうありたいか・・・」を出し合い、すり合わせることを基本に捉えます。

# 生活協同組合を通じた互助の取り組み



# 生協事業を通じた社会貢献

## 誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します

私たちは、誰一人取り残さず、安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します。自治体や諸団体との連携を大切にしつつ、地域の見守り、移動販売や配食事業など、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域における役割発揮を進めます。

関連するSDGsの  
主たる目標



11 住み続けられる  
まちづくり

### 目標11（持続可能な都市）

包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

《関連するSDGsの目標》



### ● 【自治体との包括連携協定、地域見守り協定】 全国の生協

- ・自治体との包括連携協定の締結は221件に拡大。
- ・自治体との地域見守り協定締結率は、33都道府県、1,307市区町村、63社会福祉協議会と、全市町村数の75.1%に拡大。
- ・緊急時における物資供給等に関する協定は、961件に拡大（2025年3月末時点）。

### ● 【買い物支援（移動販売車、買い物送迎車）】 全国の生協

- ・移動販売車は36生協251台が展開（2025年3月末時点）。
- ・買い物送迎車は、25生協129台が展開（2025年3月末時点）。

### ● 【配食事業（宅配弁当・配食サービス）】 全国の生協

- ・配食事業の利用は、16.5万人（前年比100.0%）で前年並み（2024年度6月時点）。

# 生協事業を通じた社会貢献

## ● 【災害支援】 全国の生協

- 各地での台風や線状降水帯による豪雨災害、豪雪など自然災害への対応として、地域ごとに平時からの関係団体とパートナーシップ構築や組合員・職員への防災・減災の学習に取り組む。

## ● 【能登半島地震の被災地支援<sup>※3</sup>] 全国の生協・日本生協連

令和6年(2024年)能登半島地震・奥能登豪雨災害への被災地支援を、全国生協と力をあわせて取り組みを継続。

- 「令和6年能登半島地震支援募金」は、能登豪雨災害募金とあわせて引き続き取り組み、228生協から約22億3百万円が寄せられた(2025年3月末時点)。
- 生協職員による災害ボランティアセンター支援は、2024年3月11日～12月23日まで3市町(能登町・穴水町・輪島市)で54生協242人が参加。
- 全国の生協の多様な支援活動を共有する「つながる力で能登を笑顔にミーティング」を17回開催し、のべ304生協からのべ680人が参加(2025年3月末時点)。
- 2024年11月には、「能登復興応援ピースコンサート」が羽咋市で開催され、能登4市町から802名が参加。
- 被災者への物資支援の継続や、炊き出しなどのボランティアのコーディネートなどに、生協や行政、NPO団体などと連携して取り組む。

出典：生協の社会的取り組み報告書2025

# 宅配・店舗事業での貢献

## 宅配事業

- 全国で約2万5千台(2022年)の生協の配送車が地域ネットワークを活かし、ふだんのくらしを支えています。
- 全都道府県で宅配事業が行われています。
- 山間部、離島等を含め広域で食材を配達しています。行政はじめ地域の諸団体との連携が進んでいます。

## 店舗事業

- 全国で938店舗(2022年度)、大型店・小型店など地域のニーズに応じたさまざまな店舗運営を展開しています。
- 店舗の積極的なリニューアルに取り組んでいます。
- 移動販売車・地域への訪問便など、全国で248台の移動販売車が運用中です。行政からの協力要請も増えています。

出典：日本生協連事務局作成資料

# 宅配・店舗事業での貢献

出典：生協の社会的取り組み報告書2025

## ■ 宅配で離島のくらしを支える

生協しまね

- ・ 隠岐の島に3か所目のステーションを開設、豊かな離島のくらしを支える。



西郷港に到着した生協しまねのトラック

## ■ 店舗での「ゆっくりレジ」

みやぎ生協、コープふくしま

- ・ 自分のペースで支払えるレジが59台店舗に。高齢者や子ども連れに好評。



要望があれば店員が袋詰めのお手伝いも

# 宅配・店舗事業での貢献：コープこうべ

出典：日本生協連事務局作成資料

## ■ 「買い物ん行こカー」

- 買い物困難な高齢者を自宅から店舗まで送迎する無料の送迎車です。曜日と時間は自分で商品を選ぶ」という当たり前の生活の維持のためで出掛けり組みです。のべ15万1,206人(36店舗31台、2023年度)が利用されています。



## ■ 「買い物支援」 + 「ボランティア」

- 買い物ん行こカーと連携した取り組みが広がっています。組合員さんがボランティアで商品を探すお手伝いやレジでの付き添い、荷物の見守りなどを行っています(13店舗で実施)。「買ひ添組きる」との声もいただいています。

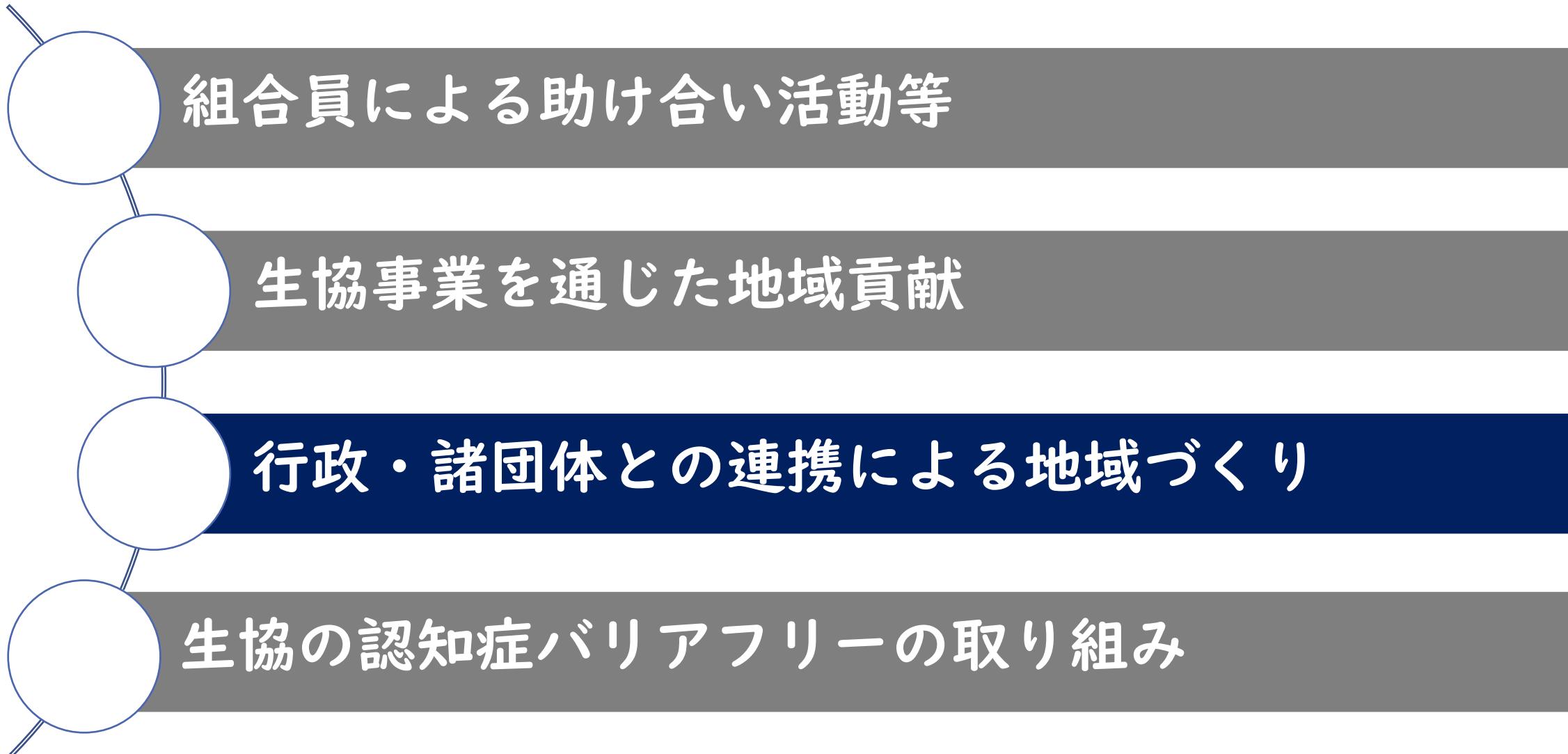


## ■ 福祉車両の空き時間を活用

- 豊岡市社会福祉協議会の協力で、福祉車両の空き時間を活用して、買い物困難な高齢者等への支援に関する協定に基づく取り組み。

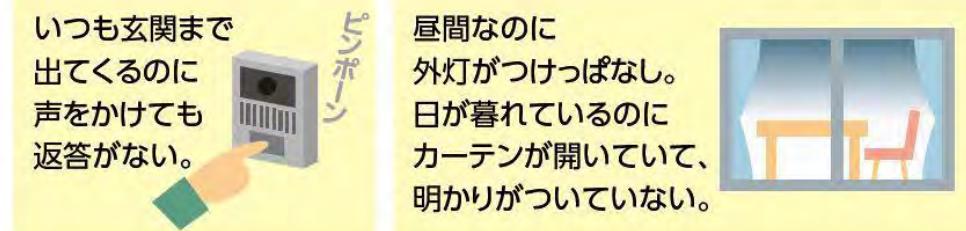


# 生活協同組合を通じた互助の取り組み



# 宅配事業のインフラを活用した「地域見守り活動」協定締結

- 全国で96生協が、全市区町村（1,741）の75.1%にあたる1,308市区町村と協定を締結（2025年3月末現在）
- 県内全市町村と締結したのは、青森県、岩手県、宮城県、茨城県、千葉県、埼玉県、富山県、石川県、福井県、岡山県、鳥取県、山口県、徳島県、佐賀県の計14県



- ・ 前回届けたものがそのまま残っている・・・
- ・ ポストに郵便物が入ったまま・・・
- ・ インターホンに応えない・・・
- ・ 電気がつきっぱなし・・・

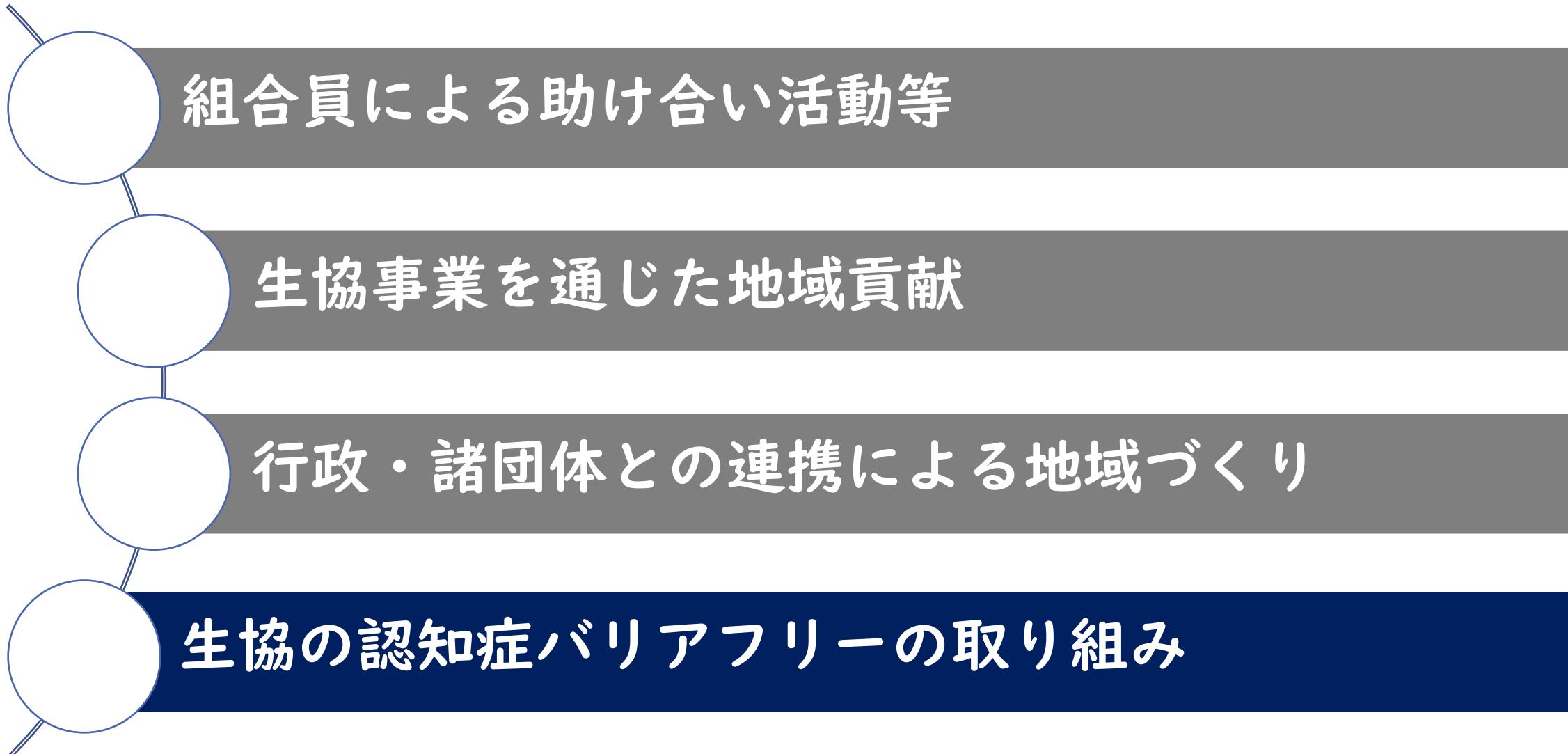
組合員に定期的に商品や夕食を届ける担当者だからこそ、気づける異変があります。



例えば、ユーコープ（神奈川・山梨・静岡）においては、配送担当者から年間約100件の報告が入ります。旅行や入院で不在だったケースもありますが、約20件は自宅内で倒れていたというような緊急事態でした。

出典：日本生協連事務局作成資料

# 生活協同組合を通じた互助の取り組み

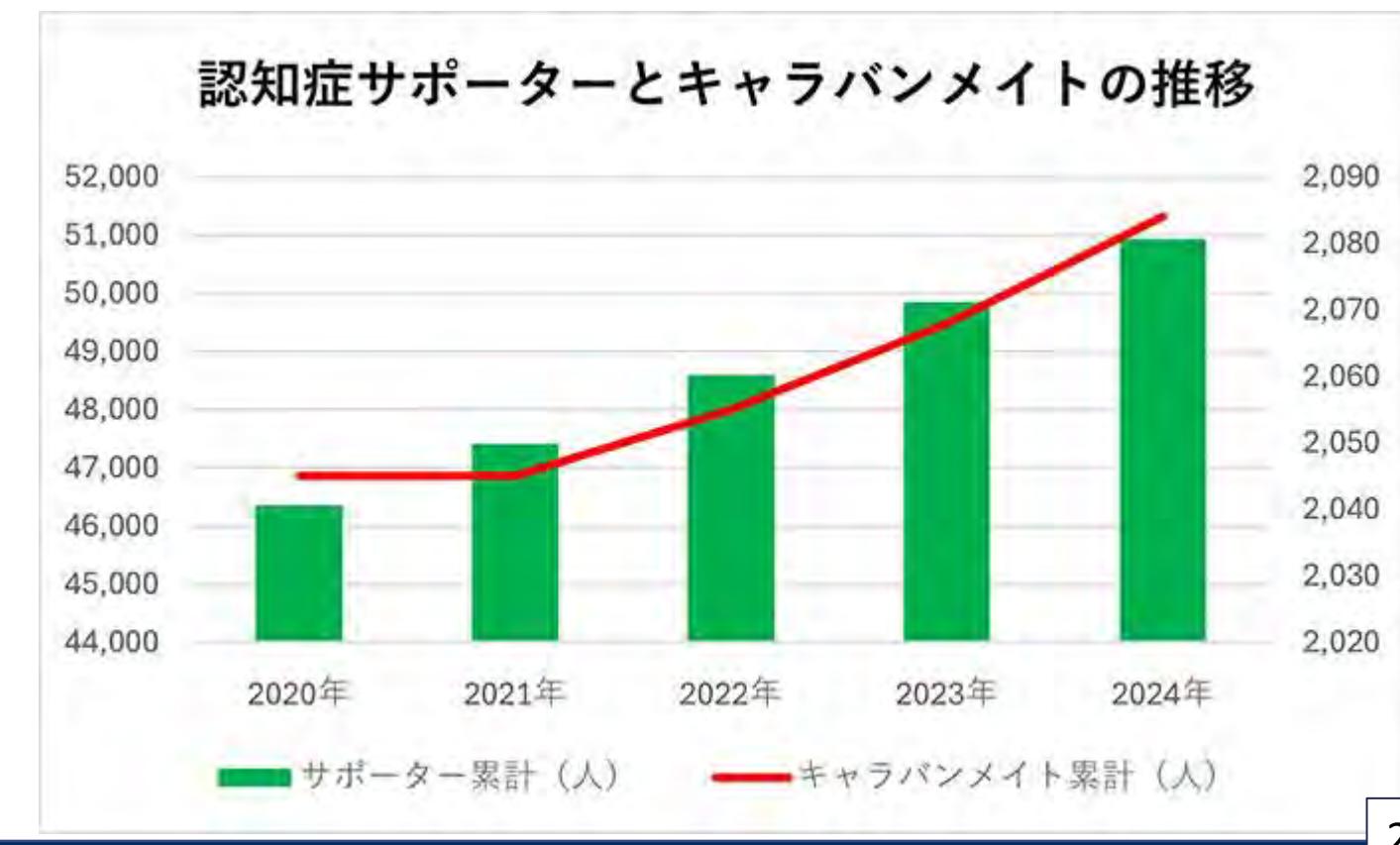


# 人材育成：認知症サポーター養成の取り組み

出典：日本生協連ホームページ

増加する単身高齢世帯や認知症高齢者を地域のネットワークを通じて支えるため、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者とし、また安心して生協をご利用いただけるように組合員・職員における認知症サポーター養成に取り組んでいます。

- 認知症サポーターキャラバン・メイト数2,084人（81会員生協+日本生協連）  
(2025年3月末時点)
- 生協内キャラバン認知症サポーター合計人数50,931人  
(53会員生協) (2025年3月末時点)
- 認知症サポーター養成講座開催回数124回、認知症サポーター数1082 (2024年度実績)



地域共生社会への貢献に向けて、行政や社会福祉協議会、地域運営組織、NPO、企業など多様な地域主体との地域ネットワークづくりを、地域の実情にあわせて取り組みを進めています。

## 会員生協の行政等との地域見守り協定（2025年2月28日現在）

- ・ 地域購買96生協（うち職域生協5生協）で、33都道府県、1,300市区町村、63社会福祉協議会他と締結しています。
- ・ うち、県内全市町村と締結したのは、青森県、岩手県、宮城县、茨城県、千葉県、埼玉県、富山県、石川県、福井県、岡山県、鳥取県、山口県、徳島県、佐賀県の14県となっています。

## 会員生協の行政との包括連携協定

- ・ 全国の38生協、県連4生協で221件の包括連携協定を締結しています。



地域共生社会への貢献に向けて、行政や社会福祉協議会、地域運営組織、NPO、企業など多様な地域主体との地域ネットワークづくりを、地域の実情にあわせて取り組みを進めています。

民間の代表として以下に参加しています。

- ・ 医療介護総合確保促進会議構成員（民間介護事業推進委員会代表委員）
- ・ 社会保障審議会 介護保険部会委員（民間介護事業推進委員会代表委員）
- ・ 社会保障審議会 介護保険部会介護分野の文書に係る負担軽減に関する専門委員会委員（民間介護事業推進委員会代表委員）

介護が必要になった職員に対して、各種制度を設けています。

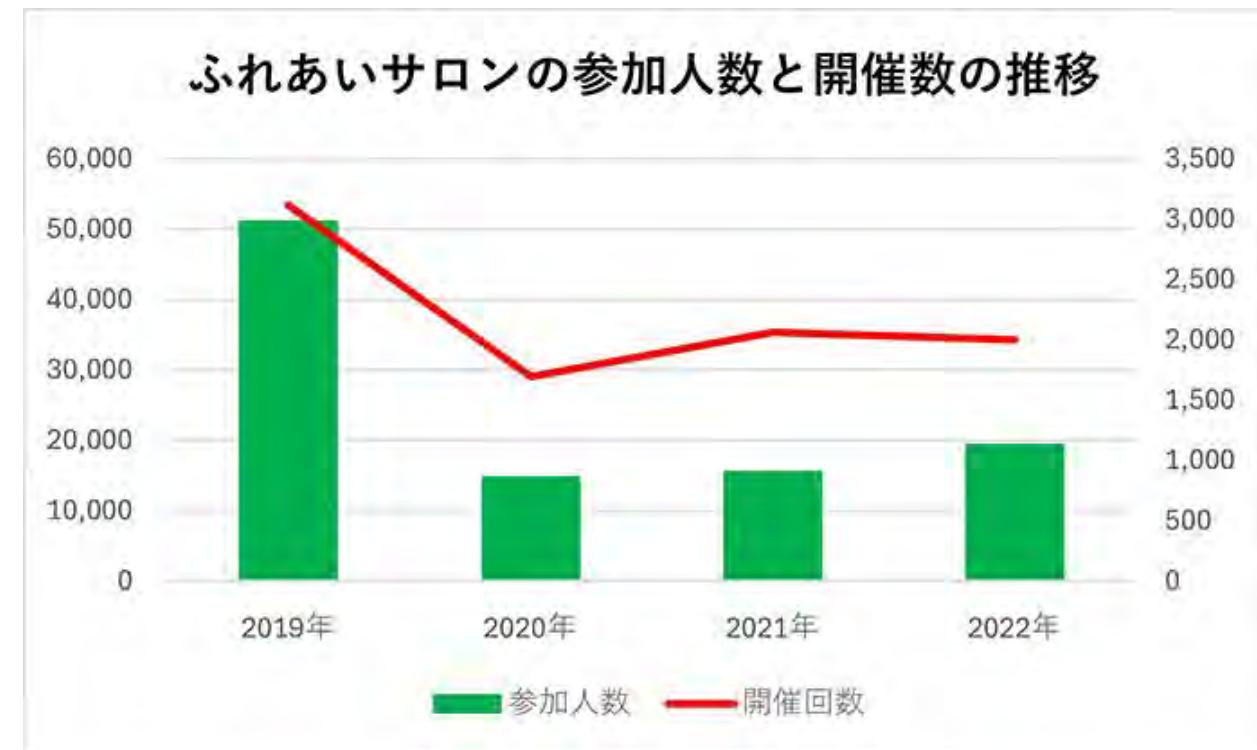
- 介護休職制度
- 介護休暇制度
- 介護時短制度等

また、介護制度利用に関する専用の問い合わせ窓口を設置し、職員からの相談に応じています。



高齢者のコミュニティ・社会参画の場づくりや、誰もが安心して自分らしく暮らし続けることのできる地域づくりに貢献する取り組みを進めています。

- ・組合員による自主自発的な活動で、ふれあいサロン、配食・お食事会、高齢者や子育て中の家庭への家事援助を行う有償ボランティアなど、多様な援助活動を通じて地域の中で助け合いの心を育んでいます。
- ・地域のつながりづくり、介護予防や安否確認の役割も果たしています。



高齢者のコミュニティ・社会参画の場づくりや、誰もが安心して自分らしく暮らし続けることのできる地域づくりに貢献する取り組みを進めています。

- ・ 地域包括ケアシステム構築に向け、「くらしの安心」のニーズに応えた福祉介護事業を展開しています。
- ・ 在宅サービスと合わせて「小規模多機能」などの地域密着型サービスも拡がっています。
- ・ また、生協が母体の社会福祉法人では、特養など施設系サービスも行なっており、全体では1,200億円を超える事業規模（他に医療事業が約2,600億円超）になっています。



私のペースでいいんだ・・・

セルフ会計の「ゆっくりレジ」高齢者や子連れママに好評

- 福井県民生協では、店舗全店で「ゆっくりレジ」を設置し、利用客が焦らずに会計できる仕組みを整えています。
- マニュアルに基づき店員の研修も行い、△大きな声ではつきり発音△重たいかごを運ぶ△レシート別に渡す、などを行うよう心掛けています。
- また、利用客が希望すれば、袋詰めや精算などもお手伝いします。



## “ハタラク” デイサービス 認知症があっても、地域の一員として生きがいを。

- ・ 介護を受ける側・される側ではなく、共に過ごす仲間として参加していただいています。
- ・ 地域とつながること、ハタラクことが「生きがい」になっています。
- ・ 初めは認知症であることを苦しんでいたご利用者が、今では「そんなこと忘れてしまう」と仰います。



高齢者でも注文しやすい環境づくりとして、簡易版OCR注文用紙を導入。

- 通常のOCR注文用紙と比べ、注文できる商品数は限定されますが、写真付きで掲載。
- 各組合員の購買履歴を基に、よく利用される商品を掲載し、注文のし忘れを防ぐことにもつながっています。

簡易版OCR注文用紙



## 地域でつながる地域サロン

3つの視点（組合員・ふくし・地域）を大切に  
組合主体の居場所づくりを推進

### 健康サロン 凜（名古屋市守山区）

医療生協や地域包括支援センター、民生委員と、福祉事業部や地域の組合員と一緒に学習会や情報交換をしています。

福祉用具の展示。  
躊躇ににくい靴の紹介



ベジチェック。センターに手のひらをあて  
野菜摂取量をはかりながらアドバイス

※CO・OP共済の健康づくり支援企画の助成を受けています

### あさ丘カフェ（豊橋市）

参加者が楽しめる企画を中心に、一人でも気軽に参加ができる雰囲気づくりを心掛けている組合員グループです。

あんきネット\*  
の学習会。  
スタッフから  
仕組みを説明



学習会だけでなく、体操やキーボード演奏、マジックショーなど、運営スタッフは毎回工夫を凝らす

※高齢者や障がい者を支えるNPO法人

認知症バリアフリーの取り組みを、ごいっしょ  
にさらに前へと進めていきましょう！

ご清聴ありがとうございました。



日本生活協同組合連合会

